

## 2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月10日

上場会社名 コーアツ工業株式会社  
 コード番号 1743 URL https://www.koatsuind.co.jp/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 出口 稔  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役管理本部長(氏名) 種子 和人

上場取引所 東・福  
 TEL 099-229-8181

四半期報告書提出予定日 2023年2月10日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績 (2022年10月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	2,925	25.7	377	43.2	383	42.8	257	30.3
2022年9月期第1四半期	2,327	-	263	-	268	-	197	-

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 268百万円(34.3%) 2022年9月期第1四半期 200百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	113.39	-
2022年9月期第1四半期	87.05	-

- (注) 1. 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前連結会計年度の期首から適用しており、2022年9月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、対前年同四半期増減率は記載していません。
2. 当社は2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	12,373	8,321	67.2
2022年9月期	12,703	8,109	63.8

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 8,321百万円 2022年9月期 8,109百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0 00	-	75 00	75 00
2023年9月期	-				
2023年9月期(予想)		0 00	-	25 00	25 00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。年間配当金の表記につきましては、2022年9月期は当該株式分割前の1株当たり配当金を、2023年9月期(予想)は当該株式分割後の1株当たり配当金を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2023年9月期(予想)の1株当たりの配当金は、期末配当金75円、年間配当金75円となります。

## 3. 2023年9月期の連結業績予想 (2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,414	3.3	373	△ 57.2	383	△ 58.0	242	△ 56.8	106.68

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
2. 当社は2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、当該株式分割後の株式数により、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期1Q	2,280,000株	2022年9月期	2,280,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	5,664株	2022年9月期	5,664株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年9月期1Q	2,274,336株	2022年9月期1Q	2,274,336株

(注) 当社は2022年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付書類2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症に対する各種経済支援政策や各種制限の緩和により、経済活動に持ち直しの動きが見られるものの、新たな変異株の発生などにより感染の収束が見通せないことに加え、ウクライナ情勢の長期化や中国のゼロコロナ政策を巡る混乱、円安の影響による原材料及び資源価格高騰も重なり、景気の先行きについては、引き続き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましては、公共投資については国土強靱化政策等を背景に、既存インフラの維持管理等を中心に堅調に推移しており、また、民間設備投資についても企業収益の改善を背景に持ち直しの動きが続くものの、慢性的な建設労働者不足による労務費の高騰や、建設資材価格の高騰に伴う建設コストの上昇による受注競争の激化などにより、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような中、当社グループ（当社及び連結子会社、以下同じ。）は、当期経営基本方針として「挙社一致、働き方改革の確実な実施を推進しつつ、継続的な受注拡大と効率化による高収益構造を目指す」を掲げ、鋭意努力してまいりました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、29億25百万円と前年同四半期に比し5億97百万円増加（25.7%増）となりました。建設事業における売上高の増加により、営業利益は3億77百万円と前年同四半期に比し1億13百万円（43.2%増）の増益、経常利益は3億83百万円と前年同四半期に比し1億14百万円

（42.8%増）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億57百万円と前年同四半期に比し59百万円（30.3%増）の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### a. 建設事業

当第1四半期連結累計期間における建設事業の完成工事高は、25億9百万円（前年同四半期比25.5%増）となりました。売上高の増加により営業利益は4億18百万円（前年同四半期比46.2%増）となりました。

#### b. コンクリート製品事業

当第1四半期連結累計期間におけるコンクリート製品事業の売上高は、3億75百万円（前年同四半期比31.0%増）となりました。原価率の上昇により営業利益は6百万円（前年同四半期比83.6%減）となりました。

#### c. 不動産事業

当第1四半期連結累計期間における不動産事業の売上高は、17百万円（前年同四半期比0.2%減）となりました。原価の低減により、営業利益は13百万円（前年同四半期比144.1%増）となりました。

#### d. 売電事業

当第1四半期連結累計期間における売電事業の売上高は、23百万円（前年同四半期比4.9%減）となりました。営業利益は11百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は123億73百万円で、前連結会計年度末に比し3億29百万円減少しました。主な要因は受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等が7億87百万円増加したものの、その他流動資産が13億5百万円減少したこと等によるものであります。

負債は40億52百万円で、前連結会計年度末に比し5億41百万円減少しました。主な要因は短期借入金が3億50百万円、賞与引当金が1億89百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は83億21百万円で、前連結会計年度末に比し2億11百万円増加しました。主な要因は利益剰余金が2億1百万円増加したこと等によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の業績予想につきましては、2022年11月11日に公表しました「2022年9月期 決算短信」における業績予想に変更はありません。しかしながら、今後、業績への影響が見込まれる事象が発生し、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	635,513	948,124
受取手形・完成工事未収入金及び契約資産等	3,069,297	3,856,777
販売用不動産	52,698	52,698
未成工事支出金	41,224	7,886
商品及び製品	207,928	217,323
仕掛品	4,843	1,278
材料貯蔵品	40,898	41,306
その他	1,614,440	308,900
貸倒引当金	△500	△400
流動資産合計	5,666,345	5,433,897
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	1,063,334	1,044,212
機械・運搬具及び工具器具備品(純額)	760,748	731,713
土地	3,507,679	3,507,679
リース資産(純額)	458,686	420,638
建設仮勘定	28,388	51,952
有形固定資産合計	5,818,836	5,756,196
無形固定資産		
投資その他の資産	29,515	28,611
投資有価証券	935,296	953,762
その他	620,032	567,994
貸倒引当金	△366,737	△366,737
投資その他の資産合計	1,188,591	1,155,019
固定資産合計	7,036,942	6,939,827
資産合計	12,703,288	12,373,724

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,242,543	2,339,698
短期借入金	600,000	250,000
未払法人税等	64,357	61,969
契約負債	541,760	474,576
完成工事補償引当金	100	200
工事損失引当金	7,000	6,846
賞与引当金	222,611	33,089
その他	520,688	535,770
流動負債合計	4,199,061	3,702,150
固定負債		
その他	394,965	350,505
固定負債合計	394,965	350,505
負債合計	4,594,027	4,052,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,319,000	1,319,000
資本剰余金	1,278,500	1,278,500
利益剰余金	5,453,584	5,654,626
自己株式	△5,631	△5,631
株主資本合計	8,045,453	8,246,495
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,076	55,910
退職給付に係る調整累計額	20,731	18,662
その他の包括利益累計額合計	63,808	74,573
純資産合計	8,109,261	8,321,068
負債純資産合計	12,703,288	12,373,724

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	2,327,881	2,925,726
売上原価	1,863,709	2,342,875
売上総利益	464,172	582,851
販売費及び一般管理費	200,485	205,256
営業利益	263,686	377,594
営業外収益		
受取利息	967	61
受取配当金	3,019	3,073
受取賃貸料	1,000	1,199
補助金収入	1,750	1,417
作業くず売却益	720	2,855
受取保険金	1,495	4,531
その他	318	1,662
営業外収益合計	9,272	14,799
営業外費用		
支払利息	2,065	2,653
支払保証料	1,822	1,922
災害事故関係費	400	2,898
その他	34	1,377
営業外費用合計	4,323	8,850
経常利益	268,635	383,543
特別利益		
固定資産売却益	—	354
特別利益合計	—	354
特別損失		
固定資産除却損	162	20
特別損失合計	162	20
税金等調整前四半期純利益	268,473	383,878
法人税、住民税及び事業税	8,274	51,625
法人税等調整額	62,211	74,352
法人税等合計	70,485	125,977
四半期純利益	197,988	257,900
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,988	257,900

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	197,988	257,900
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,802	12,834
退職給付に係る調整累計額	△2,745	△2,068
その他の包括利益合計	2,057	10,765
四半期包括利益	200,046	268,665
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200,046	268,665



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2021年10月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額
	建設事業	コンクリ ート製品事業	不動産事 業	売電事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,998,681	286,502	17,810	24,887	2,327,881	—	2,327,881
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	67,132	447	—	67,580	△67,580	—
計	1,998,681	353,634	18,258	24,887	2,395,462	△67,580	2,327,881
セグメント利益	286,088	40,912	5,399	12,250	344,651	△80,964	263,686

(注) 1. セグメント利益調整額△80,964千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額
	建設事業	コンクリ ート製品事業	不動産事 業	売電事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	2,509,050	375,236	17,778	23,661	2,925,726	—	2,925,726
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	42,657	207	—	42,864	△42,864	—
計	2,509,050	417,893	17,986	23,661	2,968,591	△42,864	2,925,726
セグメント利益	418,374	6,729	13,183	11,955	450,242	△72,647	377,594

(注) 1. セグメント利益調整額△72,647千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。